

浜の活力再生プラン
(第 2 期)

1 地域水産業再生委員会 浜プラン ID 129001

組織名	長原地区地域水産業再生委員会
代表者名	会長 有井 博

再生委員会の構成員	松茂町・長原漁業協同組合
オブザーバー	徳島県、徳島県漁業協同組合連合会

対象となる地域の範囲及び漁業の種類	徳島県板野郡松茂町・北島町（対象漁業者数 10 名）黒海苔養殖業（6 名）すじ青海苔養殖業（1 名）瀬戸内海機船船曳網漁業（1 名）延縄漁業（1 名）刺網漁業（1 名と 4 名「黒海苔養殖業と兼業」）小型定置網漁業（2 名「黒海苔養殖と兼業」）1 本釣（1 名「延縄漁業と兼業」）小型底曳網漁業（1 名「瀬戸内海機船船曳網漁業と兼用」）
-------------------	--

2 地域の現状

(1) 関連する水産業を取り巻く現状等

<p>当地区周辺海域は、紀伊水道に面し、吉野川・今切川・旧吉野川の 3 本の一級河川に挟まれた好漁場を有し、漁船漁業や沿岸漁業、藻類養殖業が盛んに行われている。当地区では、瀬戸内海機船船曳網漁業、延縄漁業、黒海苔養殖業・すじ青海苔養殖業を主体に小型定置網漁業、刺網漁業、小型底曳網漁業、一本釣り漁業が営まれている。</p> <p>瀬戸内海機船船曳網漁業については、主に片ロイワシ稚魚を漁獲しているが、漁獲後の加工作業は高齢化による人員不足のため、徳島県外に依頼している状況である。そのため「長原チリメン」が地域に浸透していない状況となっている。また、後継者がいないため廃業者もでている。</p> <p>黒海苔養殖業については、加工機器の老朽化、また、機器メンテナンス業者の閉店など、今までにない要因で、廃業者がでている。</p> <p>すじ青海苔養殖業は、11 月から翌年 2 月にかけて営まれ、吉野川河口域が全国有数の産地であり、「吉野川産すじ青海苔」として大手メーカーの製菓に使用された事もあり全国的に有名である。しかし、昨今の水温上昇により種苗育成状況の悪化や種網の張り込み時期の遅れがみられ、生産期間が年々短くなる傾向にある。また、季節外れの大雨による増水で上流域のダムが放流することにより養殖施設が損壊・流失するなどの被害が発生するようになっている。</p> <p>どの漁業種にも共通して、近年の温暖化等外的要因による、水温の上昇・海流の変化など、かつて無い漁場の悪化に対応が追いついていない状況である。</p>

漁獲量の減少、生産量の減少・品質の低下など、危機的状態である中、漁業者も試行錯誤しながら漁場を守っていきこうと日々奮闘している現状である。

(2) その他の関連する現状等

燃油の高騰により、漁業資材の値上がりがあり、燃油価格が値下がり傾向にある現在も漁業資材については価格の値下げが無く、高騰のままで推移している。また、少しでも燃油価格が上昇すると値上げされる状態が続いている。燃油価格も第1期時に比べれば下がってきているが、漁業者にとっては負担となっている。

また、資材仕入れ業者を選択することも専門品になるため困難になっている。選択余地が無いため価格交渉も出来かねている。

漁業の低迷による機器等の取扱業者の衰退、メンテナンスの引継ぎ不可能など、漁業を継続していくことへの不安材料となっている。

漁業者を取り巻く環境も年々厳しくなっている状況で、後継者育成に歯止めがかかっていることも課題である。

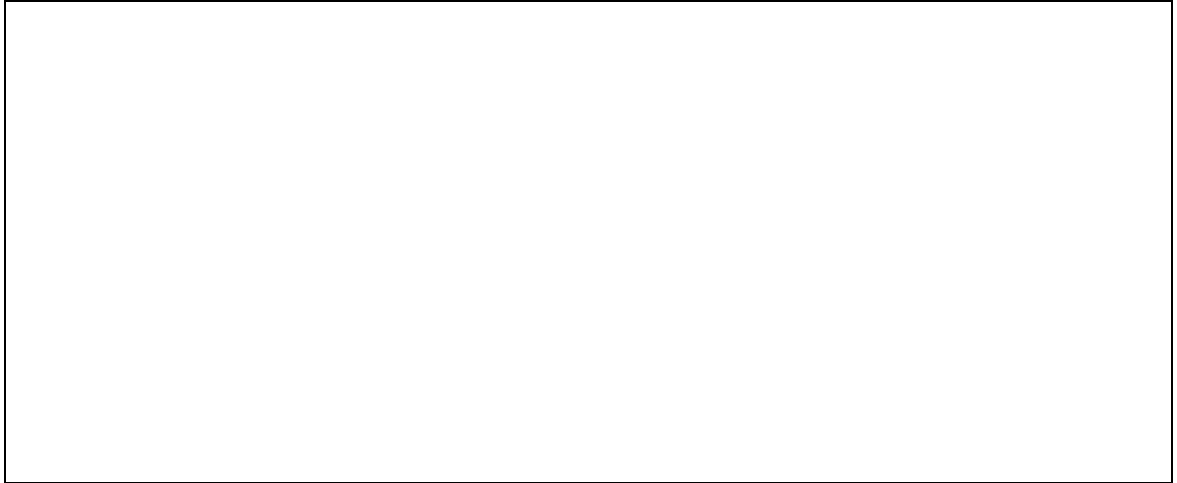
長原漁業協同組合では販売事業を行っておらず、延縄、釣り、小型定置網などの漁獲物は、松茂町の南に隣接する徳島市の中央卸売市場へ漁業者自身で出荷していたが、平成30年の秋に松茂町の北に隣接する鳴門市の公設卸売市場に水産部門が開設され、出荷先を選択できるようになった。

なお、当地域水産業再生委員会は、平成29年度から黒海苔・青海苔養殖広域水産業再生委員会の一員として広域浜プランの取組に参加し、徳島県漁連、徳島県、県内の他の地域水産業再生委員会との連携を行っている。

3 活性化の取組方針

(1) 前期の浜の活力再生プランにかかる成果及び課題等

--



(2) 今期の浜の活力再生プランの基本方針

【漁業収入向上のための取組】

1 黒海苔・青海苔養殖広域水産業再生委員会が策定した広域浜プランに取り組み生産金額の増加を目指す。

2 黒海苔養殖業においては、引き続き漁場を有効活用し、栄養塩が不足状態にならないよう枠の間隔を広げ養殖環境を最適にするよう努力する。

県水産研究課等による水質調査の結果を参考に黒海苔養殖業者で意見交換をし、漁場の使用状態、張り込み時期の検討や水質の状態把握に努め、浜全体での黒海苔生産高・品質向上を目指す。

3 すじ青海苔養殖業においては、河川増水による被害を最小限に抑えるため、ダム放流状況を把握し、すじ青海苔の壊滅にならないよう被害防止に取り組む。

他漁協とも情報交換し、すじ青海苔の品質向上・生産高の上昇を目指すとともに、現状を把握し網の張り方・時期、加工作業などを見直す努力をする。

また、すじ青海苔養殖では、品質の良い種網の確保が要となるが、天然採苗に頼っているため気象条件に左右されやすい。このため、県水産研究課が取り組んでいる人工採苗技術や新品種の開発情報を注視し、適宜、新技術の導入を進める。

4 瀬戸内海機船船曳網漁業では、引き続き曳き網時間の短縮で品質維持に努める。

また、漁獲量で左右される価格の下落を防ぐため休業日の設定を検討する。

さらに自らが漁獲したシラスを原料とした水産加工品の小売りも視野に入れ収入の向上を目指す。

5 延縄漁業では、活魚出荷に努めるとともに、鮮魚出荷についてはより高い収入に繋がる方法を模索する。また、卸売市場の情報収集に努め価格の高い市場を選択して出荷する。

6 平成 30 年度から始まった松茂町主催の日曜日への出店で長原漁協をPRし、漁業者と地域住民の交流を図り、地元産業として小売にも対応していく事を視野に入れ、収入の増加を目指す。日曜市が定着してくれば、長原漁協独自の海産物の販売を目指し、漁業者にとって良い宣伝効果をもたらすよう努める。

まだ定着していないが、松茂町が取り組んでいる観光事業の一環である漁業体験で地域漁業の認識を持ってもらい、漁業に興味を持ち後継者育成に繋がるような体制をつくる。

【漁業コスト削減のための取組】

1 資材等に対しては組合で情報収集し、漁業資材の新たな仕入れ先を提案するなど、価格交渉の材料になる資料の提供などをし、経費の削減に努めていく。

2 省エネ機器導入により漁業経費を削減する。

3 引き続き減速航行や船底清掃、機器メンテナンスにより漁業経費を抑制する。

(3) 漁獲努力量の削減・維持及びその効果に関する担保措置

海苔養殖業以外の漁業は、漁業関係法令上、周年操業（1月1日から12月31日）が認められているが、自主的に50日以上のお漁を実施し、操業時間も自主的に短縮して資源管理に努める。海苔養殖業については関係法令の他、長原漁業協同組合内に区画漁業権管理委員会を設置し、漁業の方法や養殖施設の規模・区域等について管理・指導を行う。

※プランの取組に関連する漁業調整規則や漁業調整委員会指示等について記載する。

(4) 具体的な取組内容（毎年ごとに数値目標とともに記載）

1年目（平成31年度） 「所得3%向上」

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>1 黒海苔養殖業は、引き続き漁場を有効活用し、栄養塩が不足状態にならないよう枠の間隔を広げ養殖環境を最適にするよう努力する。</p> <p>また、徳島県水産研究課等による水質調査の結果を参考に黒海苔養殖業者で意見交換をし、必要な情報提供の場を設け浜全体での黒海苔生産高・品質向上を目指す。</p> <p>2 すじ青海苔養殖業は、河川増水による被害を最小限に防ぐよう、ダムの放流状況を把握し、すじ青海苔の壊滅にならないよう、連絡網を作成し運用方法を決定する。</p> <p>他漁協とも情報交換し、すじ青海苔の品質向上・生産高の上昇を目指す。</p> <p>県水産研究課の人工採苗や品種改良の技術開発に協力するとともに、新技</p>
---------------------	---

	<p>術導入を検討する。</p> <p>3 瀬戸内海機船船曳網漁業は、引き続き曳き網時間の短縮による品質維持に努める。 また、休業日設定を検討するため漁獲量、操業日、価格の情報を整理する。</p> <p>4 延縄漁業は、活魚として出荷するために、出港前に陸送用の活魚水槽を事前に準備・点検し、最善の水質環境を整えておく。 鮮魚出荷になる魚については漁獲後速やかに氷り締めを行い鮮度維持に努める。</p> <p>5 松茂町主催の日曜日出店や漁業体験への対応のため松茂町と共に体制整備に取り組む。</p> <p>以上、浜全体で漁種ごとの取組に努め基準年度の0.1%収入向上を目指す。</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>1 漁業資材に対しては、組合にて情報提供し、漁業者の要望に応えるよう努力する。</p> <p>2 省エネ機器導入によるコストの削減に努める。</p> <p>3 減速航行を実施し燃料消費量の抑制に努める。 漁船船底清掃を年1回以上行い、航行時の抵抗を減らし燃料消費量の抑制に努める。 機器設備等のメンテナンスを実施し船体の保守に努め修繕費を抑制する。</p> <p>以上の漁業コスト削減に取り組み、基準年度の0.5%コスト削減に努める。</p>
<p>活用する支援措置等</p>	<p>漁業経営セーフティネット構築事業（国） 競争力強化型機器等導入緊急対策事業（国） 水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業（国） 浜の活力再生プラン推進等支援事業（国） 水産業強化支援事業（国） 新規漁業就業者確保事業（国） 農山漁村未来創造事業（県）</p>

2年目（平成32年度） 「所得5%向上」

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>1 黒海苔養殖業は、引き続き漁場を有効活用し、栄養塩が不足状態にならないよう枠の間隔を広げ養殖環境を最適にするよう努力する。</p> <p>また、徳島県水産研究課等による水質調査の結果を参考に黒海苔養殖業者で意見交換をし、必要な情報提供の場を設け浜全体での黒海苔生産高・品質向上を目指す。</p> <p>2 すじ青海苔養殖業は、河川増水による被害を最小限に防ぐよう、ダムの放流状況を把握し、すじ青海苔の壊滅にならないよう、連絡網を活用して情報周知に努める。</p> <p>他漁協とも情報交換し、すじ青海苔の品質向上・生産高の上昇を目指す。</p> <p>県水産研究課の人工採苗や品種改良の技術開発に協力するとともに、新技術導入を検討する。</p> <p>3 瀬戸内海機船船曳網漁業は、引き続き曳き網時間の短縮による品質維持に努める。</p> <p>また、休業日を設定し価格下落防止に取り組む。</p> <p>4 延縄漁業は、活魚として出荷するために、出港前に陸送用の活魚水槽を事前に準備・点検し、最善の水質環境を整えておく。</p> <p>鮮魚出荷になる魚は前年同様の品質管理に努める。</p> <p>5 松茂町主催の日曜日出店や漁業体験への対応のための体制を整備し、松茂町と連携して取り組む。</p> <p>以上、浜全体で漁種ごとの取組に努め基準年度の0.2%収入向上を目指す。</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>1 漁業資材に対しては、組合にて情報提供し、漁業者の要望に応えるよう努力する。</p> <p>2 省エネ機器導入によるコストの削減に努める。</p> <p>3 減速航行を実施し燃料消費量の抑制に努める。</p> <p>漁船船底清掃を年1回以上行い、航行時の抵抗を減らし燃料消費量の抑制に努める。</p> <p>機器設備等のメンテナンスを実施し船体の保守に努め修繕費を抑制する。</p> <p>以上の漁業コスト削減に取り組む、基準年度の0.8%コスト削減に努める。</p>

活用する支援措置等	漁業経営セーフティネット構築事業（国） 水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業（国） 浜の活力再生プラン推進等支援事業（国） 水産業強化支援事業（国） 新規漁業就業者確保事業（国） 農山漁村未来創造事業（県）
-----------	--

3年目（平成33年度） 「所得7%向上」

漁業収入向上のための取組	<p>1 黒海苔養殖業は、漁場を有効活用し、栄養塩が不足状態にならないよう枠の間隔を広げ養殖環境を最適にするよう努力する。</p> <p>また、徳島県水産研究課等による水質調査の結果を参考に黒海苔養殖業者で意見交換をし、必要な情報提供の場を設け浜全体での黒海苔生産高・品質向上を目指す。</p> <p>2 すじ青海苔養殖業は、河川増水による被害を最小限に防ぐよう、連絡網の運用に加え、黒海苔・青海苔養殖広域水産業再生委員会が策定する豪雨被害軽減マニュアル案を試行する。</p> <p>他漁協とも情報交換し、すじ青海苔の品質向上・生産高の上昇を目指す。</p> <p>県水産研究課の人工採苗や品種改良の技術開発に協力するとともに、新技術導入を検討する。</p> <p>3 瀬戸内海機船船曳網漁業は、引き続き曳き網時間の短縮による品質維持に努める。</p> <p>また、休業日の効果について検証する。</p> <p>4 延縄漁業は、活魚として出荷するために、出港前に陸送用の活魚水槽を事前に準備・点検し、最善の水質環境を整えておく。</p> <p>鮮魚出荷方法の効果について検証する。</p> <p>5 松茂町主催の日曜日出店や漁業体験を松茂町と連携して取り組む。</p> <p>以上、浜全体で漁種ごとの取組に努め基準年度の0.3%収入向上を目指す。</p>
漁業コスト削減のための取組	<p>1 漁業資材に対しては、組合にて情報提供し、漁業者の要望に応えるよう努力する。</p> <p>2 省エネ機器導入によるコストの削減に努める。</p>

	<p>3 減速航行を実施し燃料消費量の抑制に努める。</p> <p>漁船船底清掃を年1回以上行い、航行時の抵抗を減らし燃料消費量の抑制に努める。</p> <p>機器設備等のメンテナンスを実施し船体の保守に努め修繕費を抑制する。</p> <p>以上の漁業コスト削減に取り組み、基準年度の1%コスト削減に努める。</p>
活用する支援措置等	<p>漁業経営セーフティーネット構築事業（国）</p> <p>水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業（国）</p> <p>浜の活力再生プラン推進等支援事業（国）</p> <p>水産業強化支援事業（国）</p> <p>新規漁業就業者確保事業（国）</p> <p>農山漁村未来創造事業（県）</p>

4年目（平成34年度） 「所得8.8%向上」

漁業収入向上のための取組	<p>1 黒海苔養殖業は、漁場を有効活用し、栄養塩が不足状態にならないよう枠の間隔を広げ養殖環境を最適にするよう努力する。</p> <p>また、徳島県水産研究課等による水質調査の結果を参考に黒海苔養殖業者で意見交換をし、必要な情報提供の場を設け浜全体での黒海苔生産高・品質向上を目指す。</p> <p>2 すじ青海苔養殖業は、河川増水による被害を最小限に防ぐよう、黒海苔・青海苔養殖広域水産業再生委員会が策定する豪雨被害軽減マニュアルを活用して漁業被害の軽減に取り組む。</p> <p>他漁協とも情報交換し、すじ青海苔の品質向上・生産高の上昇を目指す。</p> <p>県水産研究課の人工採苗や品種改良の技術開発に協力するとともに、新技術導入を検討する。</p> <p>3 瀬戸内海機船船曳網漁業は、引き続き曳き網時間の短縮による品質維持に努める。</p> <p>引き続き休業日を設定し価格下落防止に取り組む。</p> <p>4 延縄漁業は、活魚として出荷するために、出港前に陸送用の活魚水槽を事前に準備・点検し、最善の水質環境を整えておく。</p> <p>鮮魚出荷について検証結果を踏まえた出荷方法に取り組む。</p>
--------------	---

	<p>5 松茂町主催の日曜市出店や漁業体験を松茂町と連携して取り組む。</p> <p>以上、浜全体で漁種ごとの取組に努め基準年度の0.6%収入向上を目指す。</p>
漁業コスト削減のための取組	<p>1 漁業資材に対しては、組合にて情報提供し、漁業者の要望に応えるよう努力する。</p> <p>2 省エネ機器導入によるコストの削減に努める。</p> <p>3 減速航行を実施し燃料消費量の抑制に努める。 漁船船底清掃を年1回以上行い、航行時の抵抗を減らし燃料消費量の抑制に努める。 機器設備等のメンテナンスを実施し船体の保守に努め修繕費を抑制する。</p> <p>以上の漁業コスト削減に取り組み、基準年度の1%コスト削減に努める。</p>
活用する支援措置等	<p>漁業経営セーフティーネット構築事業（国） 水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業（国） 浜の活力再生プラン推進等支援事業（国） 水産業強化支援事業（国） 新規漁業就業者確保事業（国） 農山漁村未来創造事業（県）</p>

5年目（平成35年度） 「所得11%向上」

漁業収入向上のための取組	<p>1 黒海苔養殖業は、漁場を有効活用し、栄養塩が不足状態にならないよう枠の間隔を広げ養殖環境を最適にするよう努力する。 また、徳島県水産研究課等による水質調査の結果を参考に黒海苔養殖業者で意見交換をし、必要な情報提供の場を設け浜全体での黒海苔生産高・品質向上を目指す。</p> <p>2 すじ青海苔養殖業は、河川増水による被害を最小限に防ぐよう、豪雨被害軽減マニュアルを活用して漁業被害の軽減に取り組む。 他漁協とも情報交換し、すじ青海苔の品質向上・生産高の上昇を目指す。 県水産研究課の人工採苗や品種改良の技術開発に協力するとともに、新技術導入を検討する。</p> <p>3 瀬戸内海機船船曳網漁業は、引き続き曳き網時間の短縮による品質維持</p>
--------------	---

	<p>に努める。</p> <p>引き続き休業日を設定し価格下落防止に取り組む。</p> <p>4 延縄漁業は、活魚として出荷するために、出港前に陸送用の活魚水槽を事前に準備・点検し、最善の水質環境を整えておく。</p> <p>鮮魚出荷について出荷までの鮮度維持に取り組む。</p> <p>5 松茂町主催の日曜市出店や漁業体験を松茂町と連携して取り組む。</p> <p>以上、浜全体で漁種ごとの取組に努め基準年度の1%収入向上を目指す。</p>
漁業コスト削減のための取組	<p>1 漁業資材に対しては、組合にて情報提供し、漁業者の要望に応えるよう努力する。</p> <p>2 省エネ機器導入によるコストの削減に努める。</p> <p>3 減速航行を実施し燃料消費量の抑制に努める。</p> <p>漁船船底清掃を年1回以上行い、航行時の抵抗を減らし燃料消費量の抑制に努める。</p> <p>機器設備等のメンテナンスを実施し船体の保守に努め修繕費を抑制する。</p> <p>以上の漁業コスト削減に取り組み、基準年度の1%コスト削減に努める。</p>
活用する支援措置等	<p>漁業経営セーフティネット構築事業（国）</p> <p>水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業（国）</p> <p>浜の活力再生プラン推進等支援事業（国）</p> <p>水産業強化支援事業（国）</p> <p>新規漁業就業者確保事業（国）</p> <p>農山漁村未来創造事業（県）</p>

(5) 関係機関との連携

<p>国の事業を積極的に活用し、徳島県漁業協同組合連合会・徳島県水産振興課・松茂町と緊密に連携して事業を行う。</p>

4 目標

(1) 所得目標

漁業所得の向上 11%以上	基準年	平成 25～29 年度：漁業所得	千円
---------------	-----	------------------	----

	目標年	平成 35 年度：漁業所得	千円
--	-----	---------------	----

(2) 上記の算出方法及びその妥当性

前期中間報告時の確定申告等書類にて算出し退会者、新規加入者については差引 (別紙：【所得】【費用】【目標値】参照)
--

※算出の根拠及びその方法等について詳細に記載し、必要があれば資料を添付すること。

(3) 所得目標以外の成果目標

漁業コストの削減 1%以上	基準年	平成 25～29 年度：	千円
	目標年	平成 35 年度：	千円

(4) 上記の算出方法及びその妥当性

別紙（漁業者漁業経費）にて算出

5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生プランとの関係性
漁業経営セーフティネット構築事業（国）	燃油経費の補助
競争力強化型機器等導入緊急対策事業（国）	生産性の向上、省力・省コスト化に資する機器等の導入
水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業（国）	リース方式による漁船購入支援
浜の活力再生プラン推進等支援事業（国）	浜プラン見直しに係る支援
水産業強化支援事業（国）	浜プランに位置付けられた施設整備の支援
新規漁業就業者確保事業（国）	後継者育成
農山漁村未来創造事業（県）	施設整備への支援